

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		看護小規模多機能型居宅介護びりーぶ				公表日	年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15	3	◎状況に応じた部屋を選択している。	◎看護小規模多機能施設内で、利用者と一緒に過ごせるようパーティション等で仕切りをしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	8	◎一人看護師を配置している。	◎複数人利用する際に人手不足かなと感じる時がある。 ◎介護職員の人員不足がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	17	1	◎常時看護師がいる為、介護職員との連携がとれている。 ◎車椅子で移動できるようにバリアフリーにはなっている。 ◎バリアフリー化はもちろん、環境整備は行っている。情報伝達は日々の記録と共に共有し対応できるようにファイリングしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	17	1	◎体動ある子どもに対してはフラットにし転落防止を行い対応している。 ◎積極的に声かけを行ったり、ホールに連れてきて他利用者の方とコミュニケーションを図ったりしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	18		◎子供が安心して過ごせるよう、飾りつけなど行い対応している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	6	◎担当者会を行うことにより、問題点等の情報共有を行い、全員が周知できるようにしている。 ◎半年に一回支援会議を看護・リハビリ・介護で行っている。 ◎定期的な話し合いを実施しており、担当者が参加している。	◎一部職員に限られると思われる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	4	◎モニタリングを行うことで、施設での対応・保護者様の移行を聞き取り業務改善に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	5	◎職員間の意見交換を行っている。 ◎半年に一回支援会議を看護・リハビリ・介護で行っている。	◎職員の見聞の聞き取りを行い、よりよいサービスが提供できるよう努力していきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	8	◎看多機運営推進会議を2ヶ月に一回開催し、意見交換を行っている。	◎自分が外部評価とその結果を把握していない。 ◎現時点で、第三者による外部評価ができていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	12	6	◎積極的に研修参加や法人内での勉強会を行っている。	◎勤務上・人員上研修を受講する時間が中々作れない現状がある。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	3	◎本年度公表を予定している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	16	2	◎6ヶ月に一回、保護者のニーズを確認して計画作成を行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	3	◎個々の利用者の支援会議は、看護・介護・リハビリで行っている。 ◎担当者と管理者が、定期的に話し合いを行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	3	◎担当の看護師・介護士・リハビリが計画に沿って情報をスタッフへ伝達している。	◎全スタッフとの共有が難しい点がある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	7		◎関与していない為分からない。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12	6		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	6		◎管理者が担っている部分大きい。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	5	◎6カ月に一回計画の見直しを支援者で行い、固定化しないようにしている。	◎一部の者は把握できていない。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13	5	◎重度の医療的ケア児が多くケアに時間を要しているが、レクリエーション（集団）も参加してもらっている。 ◎個別支援計画書を作成し、定期的に見直し・支援実施を行っている。	◎一部の者は把握できていない。 ◎重度障害の子供さんが多く、集団活動迄は出来ていない。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	3	◎担当者から、事前に情報提供を行い支援内容を確認しながら実施している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	7	◎問題が発生したときは、その日にチームで話し合いを行っている。	◎支援終了後の話し合いは、実施できていないことが多い。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18		◎記録は確実にっており、アセスメントを行っている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	17	1	◎6カ月に1回のモニタリングを実施している。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	11	6		◎重度心身障害児の利用がほとんどであり、創作等を実施する機会はない。医療的ケアが中心である。地域交流の機会の提供が中々とれな
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	9		◎重度心身障害児の利用がほとんどであり、創作等を実施する機会はない。医療的ケアが中心である。 ◎保護者による選択、こどものそしん困難あり。
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	17	1	◎管理者・担当者・保護者が参画している。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	4		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	6	◎支援会議で学校との情報交換は行っている。送迎支援はしていない。	◎保護者主体となっている。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	4	◎サービス担当者会議に参加して、情報共有に努めている。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	7		◎移行した利用者がまだいない。 ◎必要な時は、サマリーとして情報提供は必要と考えている。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	7	◎県内で行われる研修には参加し、他の事業所の活動などを知るようにしている。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	9		◎事業所としては行っていない。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	12	6		◎管理者が参加している。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15	2	◎担当者が中心となって保護者と関わっている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	7		◎家族会は一回開催したが、定期的に行っていない。
36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	2			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	4	◎モニタリングで行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	15	2		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16	2	◎相談などその都度対応されている。 ◎訪問看護を実施した際に悩み相談に応じることが多い。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	10	◎事業所のバーベキュー大会を行い、共生方利用者に声をかけ、1家族のみ参加された。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	1	◎苦情等あった場合は、速やかに対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	15	3	◎年4回びりぶだよりを作成し配布している。 行事ごとに写真を撮ったりして掲載している。	◎HP・SNSの活用はまだ出来ていないと思われる。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	18			
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17	1	◎看護小規模多機能施設の地域密着を目的として運営している。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	5		◎家族への周知ができていない。 ◎訓練の実施は、個々のマニュアルに対してのシミュレーションを増やす必要がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14	4		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	15	3		◎看護師任せになっている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	2		(栄養補助食品の利用者である。)
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	17	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	17	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	17	1	◎運営推進会議で2ヶ月に一回行っている。所内会議でも1ヶ月に1回検討したい。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	2			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	18				